



地域課題解決ファシリテーター育成科目（Hack My Tsukuba）

2022.2.22 @2021年度 第8回関東・首都圏ブロックワークショップ

筑波大学システム情報系 社会工学域 川島宏一

社会工学学位P・サービス工学学位Pにおける ワークショップ・ファシリテーター育成科目（2021年度）

No.	プロジェクト名称	担当教員	単位数 (上限)
1	つくば市プロジェクト型共同研究実習	藤井さやか、大澤義明	2
2	まちづくりワークショップファシリテーター研修	藤井さやか、雨宮護	2
3	国際交流WSデータベース作成	藤井さやか、有田智一、川島宏一	2
4	地域課題解決ファシリテーター育成（Hack My Tsukuba）	川島宏一	2
5	地域課題解決ファシリテーター育成（地域社会で災害弱者を救う）	川島宏一	2
6	ビックデータ分析とマーケティング戦略立案	有馬澄佳、繁野麻衣子	2
7	ビックデータ分析と総合的マーケティング戦略立案	有馬澄佳、繁野麻衣子	1
8	高大連携プロジェクト 地域の問題を最適化するTAプログラム	吉瀬章子、繁野麻衣子、八森正泰、 高野祐一、大澤義明	2
9	高大連携プロジェクト 地域の問題を最適化するTFプログラム（TAの総括）	吉瀬章子、繁野麻衣子、八森正泰、 高野祐一、大澤義明	2
10	アントレプレナーシップ・トレーニング（基礎編）	有馬澄佳	1
11	アントレプレナーシップ・トレーニング&ディベロップメント（基礎編&発展篇）	有馬澄佳	2
12	戦略行動システム演習の支援活動	上市秀雄	1
13	消費者心理分析の支援活動	上市秀雄	1
14	公民協働型都市開発プロジェクト提案ワークショップ	有田 智一	2
15	都市環境デザインスタジオ 「郊外での新しいくらし方を考える」（仮）	村上暁信	2
16	ランドスケープデザインスタジオ「熱環境評価にもとづくアーバンデザイン」	村上暁信	2
17	キャンパスの緑を考えるー神代桜移植を契機にー	大澤義明、村上暁信、雨宮護、鈴木勉	2
18	歴史的建造物の調査・評価と保存4	藤川昌樹	2
19	茅葺き民家を活用した地域再生拠点づくり4	山本幸子	2
20	坂城町高大連携2021	大澤義明	2
21	潮来市高大連携2021	大澤義明	2
22	天塩町高大連携2021	大澤義明	2
23	つくばみらい市高大連携2021	大澤義明	2
24	国際会議における発表	プログラムリーダー	1
25	社会人学生向けプロジェクト	プログラムリーダー	2
26	早期修了博士コース向けプロジェクト	プログラムリーダー	2
27	DDP学生向けプロジェクト	プログラムリーダー	2

Hack My Tsukuba とは？

地域で起こっている問題の解決に向けて

多様な人々が 様々なアイデア・資源を持ち寄り 意見交換し 試行錯誤しながら
解決策をまとめてゆく オープンでフラットな 「場」





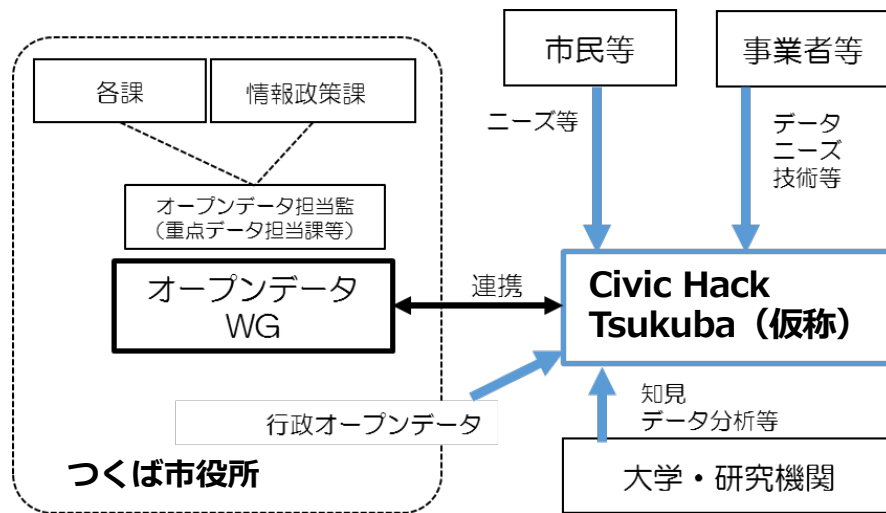
Hack My Tsukuba の つくば市情報化推進計画2018*における位置付け

7-1-2 市民等と共同によるデータ活用体制

官民データ活用については、市民をはじめ、企業、大学・研究機関、行政等が集い、データを活用した地域課題の解決等を図るプロジェクト『**Civic Hack Tsukuba**（仮称）』を推進します。

プロジェクトで想定する内容

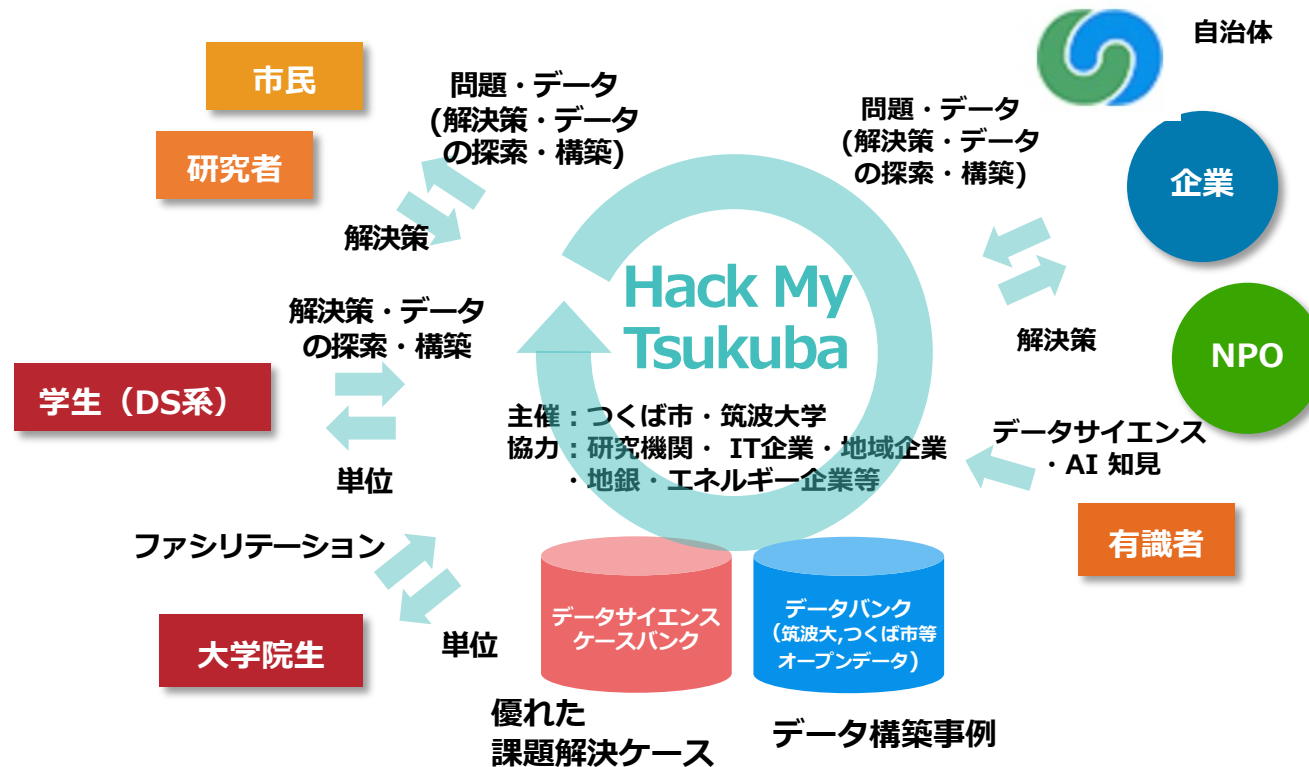
- 官民データに関する情報交換
- 官民データ活用に関する協議、協力
- データ活用による地域課題解決等の提案
- データ活用プラットフォームの構築検討



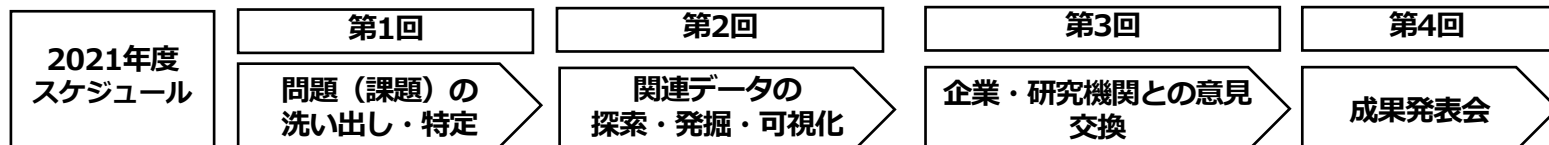
*: https://www.city.tsukuba.lg.jp/res/projects/default_project/page/001/002/475/ictplan2018m.pdf



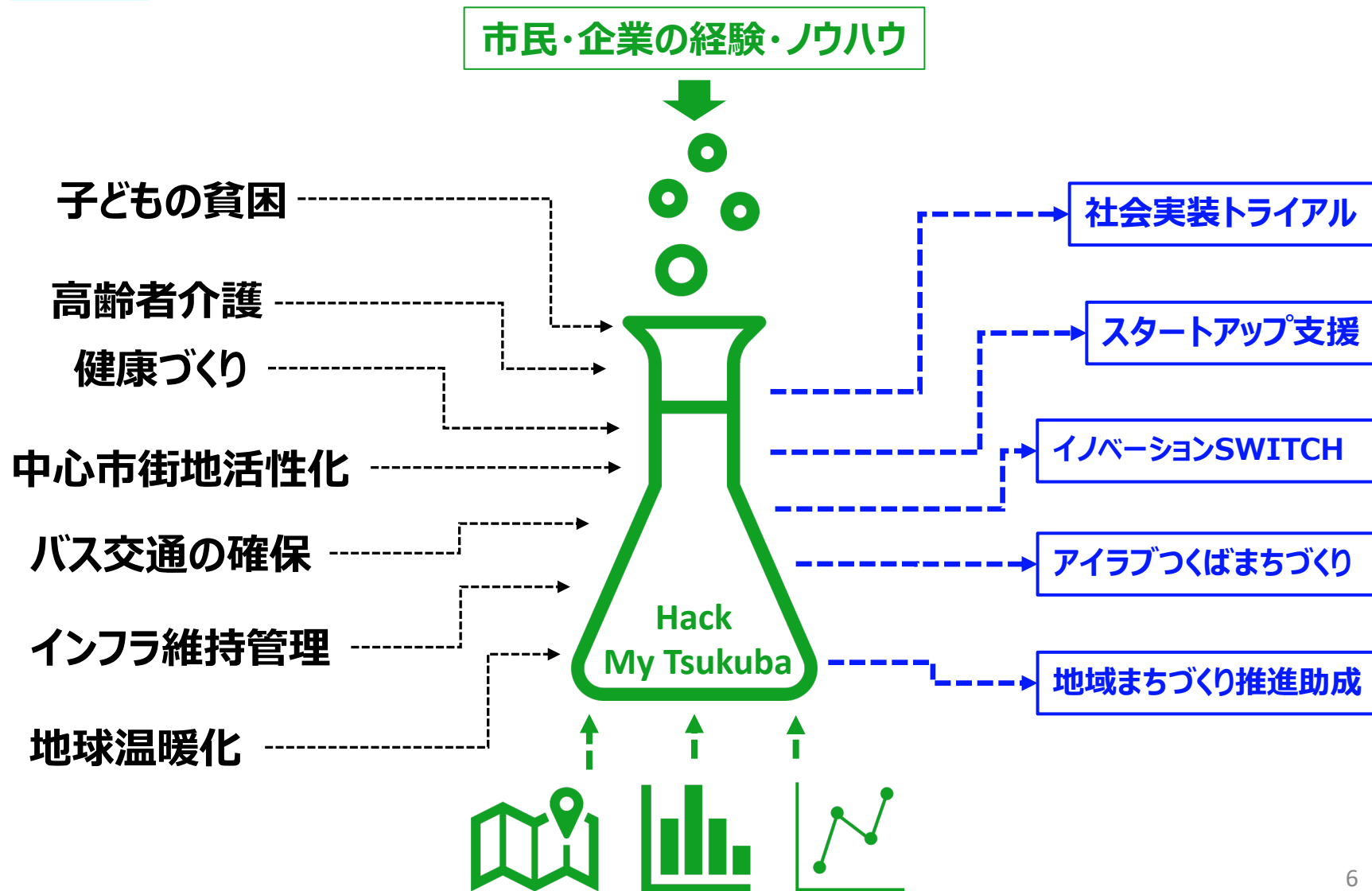
Hack My Tsukuba が目指す 地域課題解決エコシステム



履修者数に応じて4～5回/年開催



実際の問題解決につなげて行きましょう





持って帰っていただきたいもの

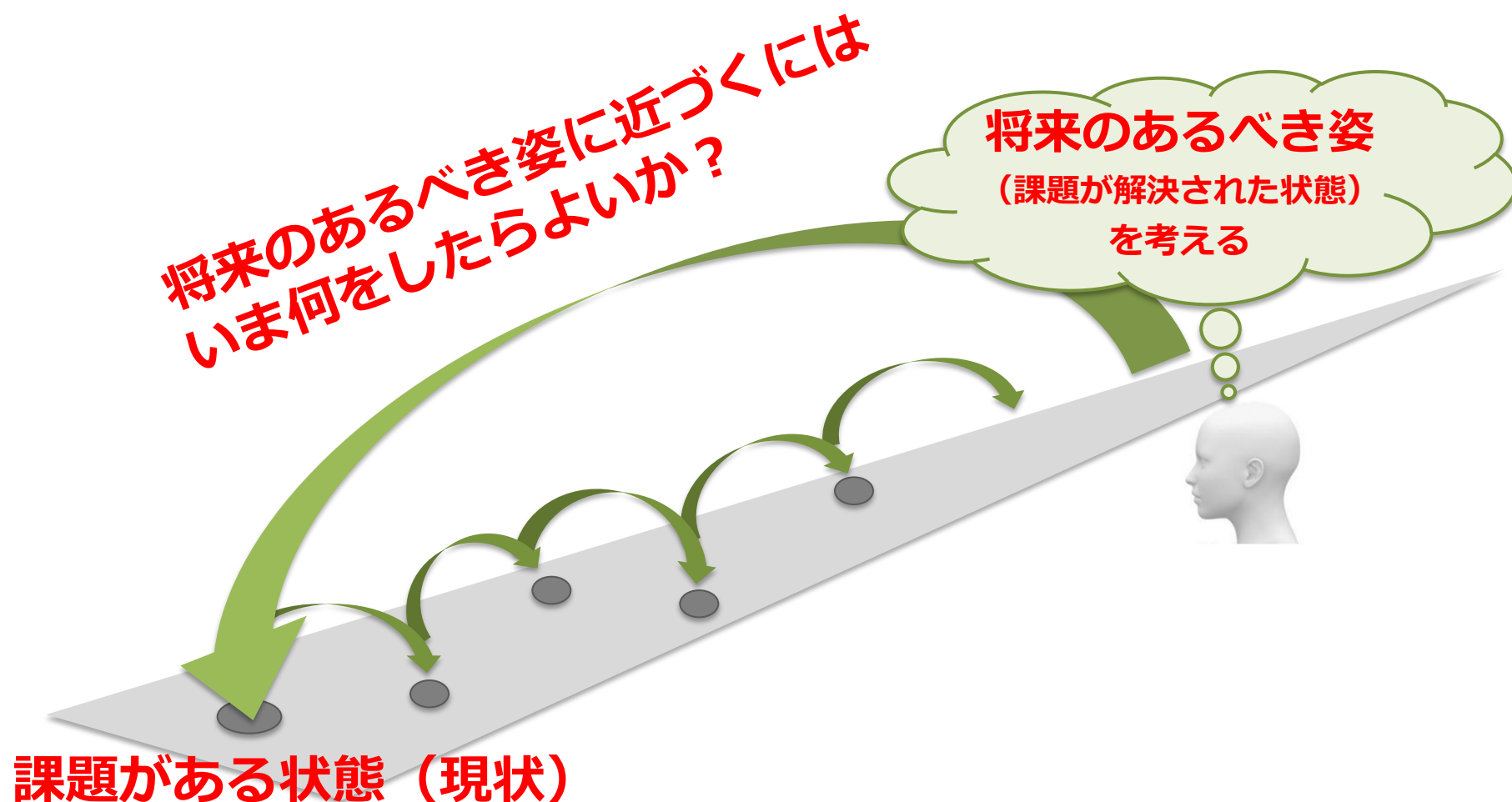
1. 対話から得られる**気づき・知識**
2. 地域の課題解決に貢献することで得られる**手応え感**
3. 地域課題を**データで分析する機会**
4. 自分のアイデアに対する**フィードバック**
5. 話し合いの中から生まれる**共感**
6. 熱意のある人から得られる**エネルギー**
7. **参加者との人脈**



HMTのWSプログラム構成要素

- ① 趣旨説明
- ② Lightning Talks
- ③ 前回議論の振り返り
- ④ Discussion 1（論点の洗い出し）
- ～ Lunch Break
- ⑤ Discussion 2（あるべき姿・課題の議論）
- ⑥ Discussion 3（解決策議論・プレゼン準備）
- ⑦ Presentation and Feedbacks
- ～ 懇親会

バックキャストिंग（成果から逆算して議論をリード）



4段階の問題解決法

1.問題点の 特定

- 問題点の洗出し（誰が(who)、いつ(when)、どこで(where)、何について(what)、どのように困っていて(how)、それはなぜなのか？(why))
- 問題点の整理（KJ法）
- 問題点の絞込み

2.あるべき姿 の明確化

- 5年（10年、20年）後、問題が解決されている状態とはどのような状態か？
- 問題点の5W1Hの困っている状態が困らなくなっているのは、どのような状態か？（問題点のhowが逆転している状態）

3.課題の 特定

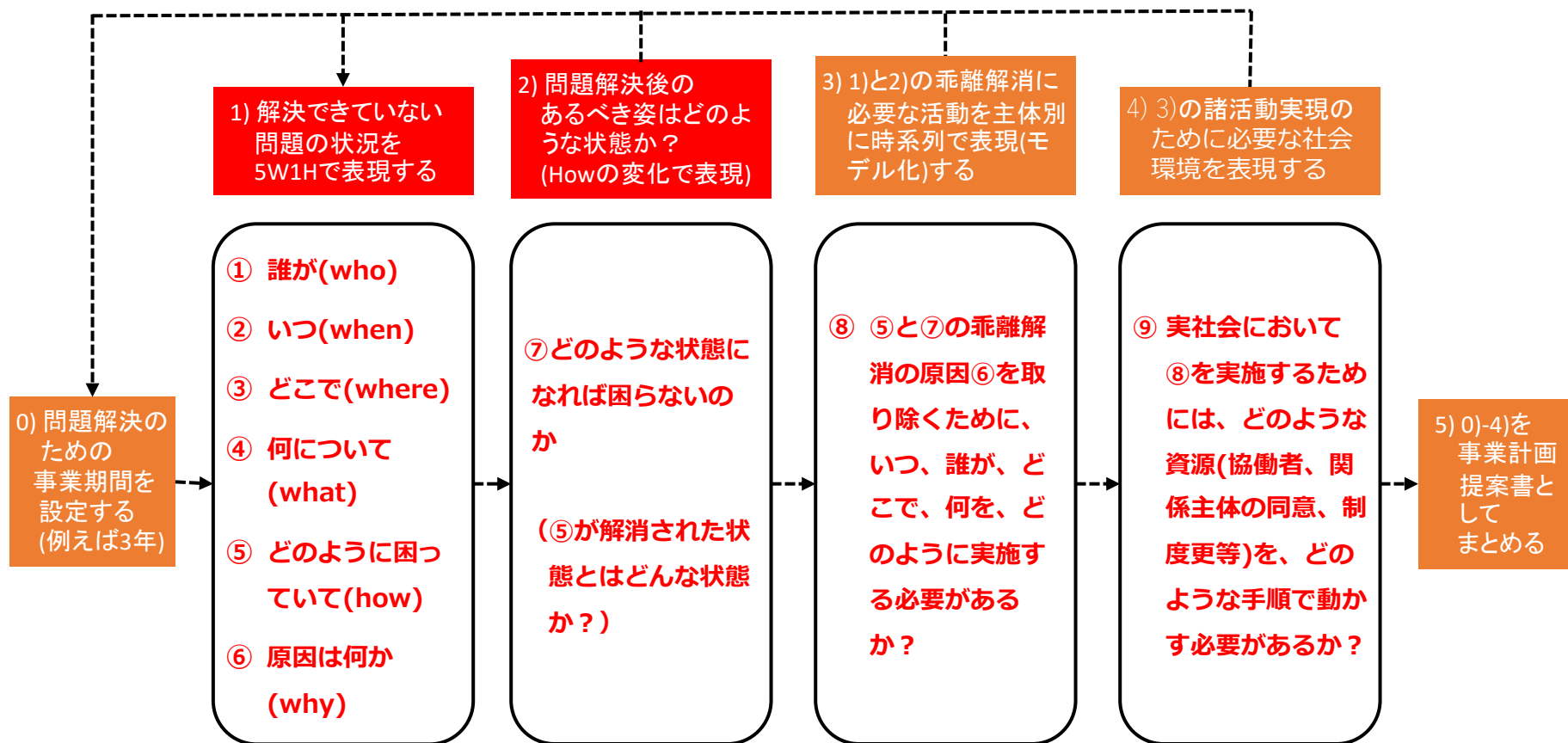
- 課題の洗出し（「あるべき姿」と「現状」とのギャップを生み出している要因は何か？）
- 課題の整理（KJ法）

4.解決策の 発表

- 解決策の洗出し（それぞれの課題を解決するアクションは何か？）
- ブラッシュアップ（解決策の順序関係、整合性などを確認し、時系列で整理する）
- 発表資料作成・発表

データを活用した問題解決行動計画づくり ～現状からあるべき将来への変革をデータで考えよう～

計画期間内で問題解決できない場合、問題スコープの小規模化や計画期間の修正を行う



ビジネス・モデル・キャンバス

Designed for

Designed by

年 月 日

反復回数:

KP パートナ



③ 主要活動



② 価値提案



⑥ 顧客との関係



① 顧客セグメン



④ リソース



⑤ チャネル



C\$ コスト構



R\$ 収益の流れ



提供するデータ、ツール

データ：

- つくば市未来構想・戦略プラン
- つくば市オープンデータ
- Q-GISの入手から活用まで
(<https://sites.google.com/view/hack-my-tsukuba-gis>)
- 地図で見る統計（jSTAT MAP）
- Adopt Geodata
- 前回までのHMT資料など

ツール：

- RESAS
- 地理院地図
- 都市構造化計画
- KDDI Location Analyzer など

社会実装の実現例

つくば市 チャットボットサービス



つくば市のホームページで 介護や子育てなど幅広く 相談可能なチャットボットを導入

高齢者福祉や介護をテーマに開催したHackMyTsukubaで、介護制度が複雑であることや必要になるまで関心がわからないなどの理由から、いざ必要になったときにすぐに始められないという問題が挙がりました。そこで、プライバシーが保護されていて、気軽に調べられる手段として、「チャットボット」が提案されました。本提案をきっかけとして、現在は、つくば市のHPで、介護や子育てなど幅広く相談可能なチャットボットが導入されています。

詳しく見る 

提案グループ



2017年第3回 12月9日 実施

村上さんと愉快的仲間たち

開発者 村上 遼

株式会社ディー・エヌ・エー

行政での手続きや情報は複雑でわかりにくいことが多くあります。それを窓口にいってわざわざ質問をすることは面倒だし、内容によってはプライベートなこともある。本当に情報が必要なときは全く時間がなかったりもする。それらを解決するためにはインターネット上で質問に答えてくれるチャットボットがあったらいいという発想からこのチャットボットは生まれました。

総務省第5回「地方公共団体における統計データ利活用表彰」で 「特別賞」を受賞（2020.10）



茨城県
つくば市

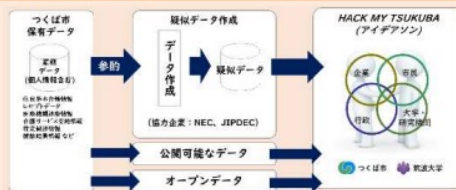
「疑似市民データ」を活用したアイデアソンの開催

- ✓ 街づくりのアイデアや地域課題の解決法を広く募るアイデアソンのイベントを開催
- ✓ 課題解決の検討には住民データを参考に作成した疑似データなどを活用

地域課題解決のアイデアソン開催

市民が自ら課題解決を考えていく、ディスカッションと解決策提案の機会を提供することを目的として開催

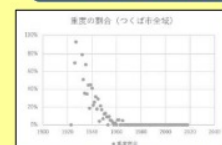
- ・2019年度テーマ：高齢者福祉に関わる課題解決
- ・市民、企業、大学、行政関係者など、のべ86名が参加
- ・GISやExcelを使った疑似データの可視化、相関・回帰分析の手法等によりデータ活用を検討



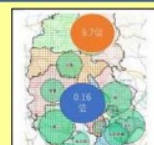
- ・アイデアソンでは、日常生活圏域（中学校区）ごとにクラスター分析することに着眼し、**非識別加工情報で推奨される匿名加工よりも非常に強いノイズやスワップを入れる加工を施し**、疑似データ（非個人情報）を作成
- ・参酌データ（元データ）とは全く違うデータだが、**クラスター毎の集計や比率は同じになるように、専門家の意見を取り入れて、ノイズ加工を施した。**

自治体の中でしか検討することができない**詳細なデータに基づくディスカッションが可能に**

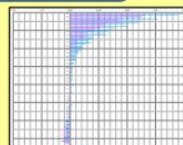
地域貢献につながるアイデアの創出



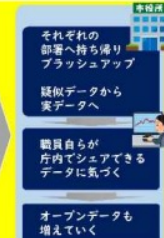
＜年齢と重度介護割合の相関＞
※疑似データのため結果は現状に沿っていません。



＜65歳人口/10歳以下人口を可視化＞



＜行政区別年齢別人口データからコーホート分析＞



- ＜挙げられたアイデア例＞
- ・ひとり暮らし高齢者の困りごと解決
- ・多世代コミュニケーションの場
- ・助けられる人と助ける人のマッチング
- ・動ける高齢者の活躍

＜期待される効果＞
自治体だけでは思いつかない**アイデア**を市職員が持ち帰り政策立案に活かす循環が生まれる**強固な体制を構築**

＜活用データ＞ 国勢調査、国土数値、つくば市オープンデータ、住民基本台帳データ、レセプトデータ、健診結果情報 等



目指している人材育成像：**両利きの人材**

- ・ **多様な主体を巻き込んだ議論の場（協創の場）を企画・運営する能力と、専門分野の最新のデータ分析・活用能力と併せ持ち、企業、自治体、地域社会等からの様々な社会課題に対して、異なる視点からのアイデアをぶつけ合い、それらを組み合わせて分野融合型の解決策を創造・提案できる人材**
- ・ **あるべき姿（目標）と現状をデータを用いて議論し、関係者と試行錯誤しながら解決策を合意形成できる人材**

ご静聴ありがとうございました

明日、Hack My Tsukuba 特別セッション開催。ぜひ、覗いて見てください！

近日開催イベント

2022年 第5回テーマ：

次期つくば市スタートアップ戦略への提言

- つくばエリアや全国のスタートアップに関するデータを活用し、ディスカッションを通じて、次期つくば市スタートアップ戦略に対し提言します。
- つくばが起業しやすい街になるためのアイデア出し、施策を提案します。
- 参加の皆さんがアクションを起こすきっかけをデザインしていきましょう。

ポスターをダウンロードする

開催日時

2月23日(水) 13時30分～17時00分

内容

今年度のHack My Tsukubaでは、これまで4回にわたり、地域課題について考え、アイデアを練り、多岐にわたる課題に対する解決策の実践・実装について話し合われました。

これらを踏まえ、今回実施する第5回では、つくば市が2018年に策定し来年度見直しを行う「つくば市スタートアップ戦略」の課題を考え、解決策の提言を行います。

実際に市が策定する行政計画への提言を通じて、皆さんにとっても、地域にとってもアクションを起こすきっかけをデザインしていきたいと思います。

まちづくりをじぶんごとにする第一歩を皆さんでつくっていきましょう。

